

関常幸 議会報告

第35号
2014. 7

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



市民参加の議会を目指す！

昨年11月に議長に就任し8カ月が過ぎた。小野塚彩那選手のソチ冬季オリンピック銅メダルの快挙に感動し、サッカーワールドカップ日本の予選敗退は次への飛躍と思う……。

直近の政治課題は、①人口減少 ②集団的自衛権の行使 ③原子力発電の再稼働 ④北朝鮮の拉致等々と重要課題が山積しておるが、アベノミクスにより経済成長戦略を進めている安倍政権に期待している。

議会改革 底上げ進む「民意くみ政策立案」と、6月16日の日本経済新聞に、全国813市区議会の「議会改革度」が公表された。今回は3回目の調査で「情報公開」「住民参加」や「議会の運営」など35の質問を設け、ここ1、2年の実績を聞き、回答を数値化してランキングしたものだ。前回は2年前に実施。(回答率100%)

南魚沼市の総合順位は全国431位・総合偏差値は47.07で、前回(360位)よりも順位を下げている。新潟県では20市中11位。本県の上越市議会が全国4位(前回5位)、魚沼市は163位となっている。

議会改革の鍵となっているのが、議会の役割を体系的に定め、改革を具体的に規定する「議会基本条例」だ。本条例を制定した地方議会は356と、この2年で2倍強になった。制定予定と検討を加えると7割になる。今や地方議会の「標準装備」となったと言える。

議長立候補での所信表明に「市民目線での議会運営」をかかげた。その実行のため「議会活性化」に向けて数回の会議を行い、市民の皆さんが「参加する議会」を合言葉に①議会内部の活性化 ②市民連携による活性化 ③議会を知ってもらう活動を柱に検討を始めた。全国でも「議会報告会(意見交換会)」を開催した議会は352と倍増した。

議員目線での議会改革だけでなく、市民の皆さんの意見も聞かなければという事で、「議会活性化市民会議」(仮称)を組織したらどうかとか、先日ICT導入について研修を行い、議会中継システムの28年度導入に道筋がみえる。

「議会基本条例」の制定に向けて、前回総合順位1位で、今回は5位の千葉県流山市議会や上越市議会で学んでくることからスタートだ。

本条例制定や議会改革に、強い姿勢で臨もうと思う。



<参考>

	順位	得点	偏差値
上越市	4	63.6	82.13
南魚沼市	431	24.6	47.07

総合順位2位の会津若松市を訪れ、議場内を視察する。会津若松市は市民との意見交換会を毎年5月と11月にそれぞれ15会場で開催。そこで出された意見を議員同士で議論し、政策提案に結び付ける。

6月議会(10日~20日)

●全国市議会議長表彰（在職10年以上）伝達式を議会初日に行う。被表彰者は下記の4名です。表彰状授与後、市長より祝辞をいただく。その後、4人は登壇し謝辞を述べる。合併前からの議員で、合併に際しては本当にご苦労さまでした。これからも南魚沼市発展の為にご尽力ください。

- ・阿部久夫議員～正副議長4年以上、議員在職10年以上
- ・腰越晃議員～議員在職10年以上
- ・牧野晶議員～議員在職10年以上
- ・樋口和人議員～議員在職10年以上

●一般質問は18名。人口減少で自治体が消滅するというショッキングな報道がされたせいもあり、人口減少問題を取り上げた議員は、鈴木、中沢、笛木、岡村、中沢、佐藤、山田と多かった。

先の会派代表者会議で「人口減少問題……」に関する特別委員会等を作る必要があると思うので、各会派で研究してくださいと提案する。

●議会最終日は、委員長報告を含め16件審議される。

請願「30人以下学級実現……」と「手語言語法制定を求める……」2件は全員賛成で採択され、意見書の提出についても全員の賛成で可決する。

「集团的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書の提出について」は、提案者説明の後、質疑が2人あり、討論に入る。それぞれ賛成・反対討論が2人ずつ行われ、採決の結果、賛成少数で原案は否決される。

この問題は、今一番の関心事だ。私の考えは、昭和22年の憲法制定時と今では国際情勢も社会・経済情勢も様変わりしており、60数年前のままでいいのだろうかという事だ。同盟国が攻撃されても手助けができない。国際社会からみればそれはおかしいと言われておる。このままでは、日本は外交でカヤの外におかれる。その時代にあった対応をすることが大切だ。そう言うとすぐに「戦争をするのか」と言われる。そこが私はおかしいのであって、集团的自衛権の行使が可能でも「戦争は絶対にしない」ことだ。世界に誇る平和憲法をこれからも日本は守り発展させていく。ただ、もっと国民的議論をするべきで、議論が少ないことは否めないし、国会での議論はもちろん、地方に向いて議論すべきで、早急に閣議決定するべきでなかった。

26年度病院事業会計補正予算、税条例の一部改正、火災予防条例の一部改正、新市都市計画の変更、ロータリー除雪車の取得にそれぞれ質問がある。税条例の一部改正では反対意見が出されるが賛成多数で可決する。

人権擁護委員1名、農業委員会委員3名の推薦については全員賛成で決定する。

6月議会も無事終わり、ホッとするが、課題もあった。

一般質問は3月議会から、質問日を確定したことは議員からも、傍聴者の方からも喜ばれている。そして、質問席の椅子を直したことは良かった。

市長の2問目以降の答弁の仕方について市長より要望があり、改善の余地ありと思った。議員の不適切発言（ありがとうございます。午後からの眠たい時間帯…、質問と関係ない話を長々とする）と思われる発言もあり、議運で検討か……。

議長日誌



5.24 浦佐小学校運動会



5.24 南魚沼市民病院地鎮祭



5.25 大原運動公園野球場オープン



5.28 全国市議会議長会総会(東京)



6.1 全国植樹祭(長岡市)



6.2 山本良一氏講演会



6.4 魚沼荘地鎮祭(城内)



6.8 第5回グルメマラソン



6.12 大畑誠也氏講演会



6.23 故星野行男代議士偲ぶ会(長岡市)



6.26 国際大学大学院修了式



6.29 佐々木常夫氏講演会



7.1 農林事務次官に陳情(東京)



7.2 井口市長市政懇談会(浦佐)



7.5 高田開府400年記念トーク(上越市)



7.6 南魚沼市総合防災訓練



7.7 ガンホー森下社長表敬訪問(東京)



7.12 自民党県連大会 石破幹事長講演会(新潟市)

★市政施行10周年記念講演会

<6月12日 大畑誠也先生>

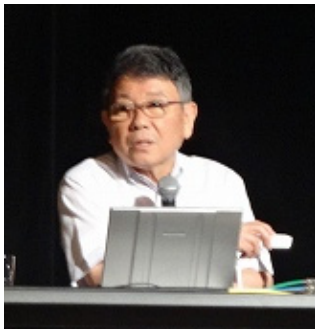
「挨拶でまちづくり」を合言葉に、**1000**人プロジェクトと銘うって、市民会館の大ホールを満杯にしようと、南雲教育長が先頭に立ちすすめた。当日駐車場の混雑が予想されたので、17時半には家を出るが、六日町に入ると渋滞が始まる。ぞくぞくと市民の皆さんが会場入りしているので、18時30分の開会を10分遅らせ開演する。

「あいさつ えがお まちづくり」と題して、いよいよ講演会が始まる。大きなステージが小さく感じるほどに、動き、アクションを交えての講演に感銘、感動をうけた。

廃校目前の高校校長に平成7年に47歳で赴任し、3年で鹿児島県一番の高校にする。その実践と悪戦苦闘の話に感銘と感動を受けた。「あいさつ」で生徒を変え、学校を変え、地域を変えた実践は学ぶ事ばかりであった。今日の講演を、南魚沼市にどのように生かすのか……！聞きっぱなしであれば今日の講演会は何だったのか問われる。



<6月29日 佐々木常夫先生>



自閉症の長男と、うつ病の妻、子どもは3人。妻は20年の時に43回入院し、3回自殺未遂を起こす。すべての家事、看病をこなし、過酷な毎日でも、仕事は会社でトップに行く。大阪・東京と6度の転勤。

課長になった時「礼儀正しさにまさる攻撃力」はないと、部下に徹底指導する。破たん会社やさまざまな事業改革に全力で取り組み、同期トップで取締役になる。

『中2年の長男、小6年の二男、小5年の長女。私の一日は5時半起床、3人分の朝食を作り、同時に3人分の弁当を作る。子供たちに登校準備の声をかけ、7時過ぎに家を出て、8時には会社着。みんなが出勤する1時間が勝負。会議2時間は1時間に、1時間は30分に。打ち合わせも議論も結論から始める。資料は事前配布。課のあらゆる業務を計画的・効率的に行うことで、無駄を徹底的に排除する。夕方6時には会社を出る。7時に帰宅し夕食を作る。9時までに明日の朝食の準備をする。その後は持ってきた会社の仕事をする。』

淡々と話す、その言葉から 家族とは、仕事とは、人生とは、愛とは何か、心揺さぶる感動の講演であった。

生ビール&鮎まつり

時:7月27日(日)14時~21時

於:毘沙門通り

●葉月みなみショー

18時からと20時から2回

編集後記

★五月三十日、全国市議会皇居「豊明殿」で天皇陛下に拝謁。全国市議会佐藤会長より言上(挨拶)があり、そして、天皇陛下よりお言葉をいただく。入場から退場まで七分位だが、すごく長く感じた。緊張したし、体が硬くなり、そして感動した……。

改めて議長の責務を痛感する

★特産「八色スイカ」の収穫が始まると、夏本番を迎える。一日も早い梅雨明けと「ゲリラ豪雨」はご免こうむりたい。

★これから暑さ本番です。熱中症には気を付けましょう。

